



令和7年度 学校だより

天王丘



令和7年7月15日(火)
第8号
観音寺市立栎田小学校
発行

長
子
配
付

子どもが輝く、その理由 第2章

夏の陽射しがいよいよまぶしくなってきました。七夕の日には、子どもたちの願いが書かれた短冊がそよ風に揺れ、空を見上げながら「かなうといいな」と笑顔で話す姿が見られました。七夕は願いを空に届ける日。学校でも、子どもたち一人ひとりの心のなかにある「なりたい自分」や「好きなことをもっと頑張りたい」という思いが優しく輝いています。



そんな中、7月10日(木)と11日(金)の2日間にわたり、児童会主催「キラキラスターフェスティバル」が開催されました。これは、自分の得意なことを発表することで自信を育み、自尊感情を高めること。そして、異学年の友だちのよさを知り、興味を持ち、もっと仲良くなりたいという思いから生まれた行事です。さらに、みんなに関わることの楽し



さを感じながら、学校がもっと大好きになってくれたら…そんな願いが込められています。ステージでは、得意のダンスを披露する子、お笑いで会場を笑顔にする子、合奏でみんなを魅了する子。衣装や小道具もすべて自分たちで用意し、練習を重ねてきました。「見ている人に楽しんでもらいたい」「みんなが笑ってくれたらうれしい」そんな「やさしきの星」が体育館いっぱいに広がりました。



冷風機だけの蒸し暑い中、子どもたちは汗だくになりながらも笑顔でステージに立ち、観客席からは惜しめない拍手と歓声。体育館はまるで夢のフェスティバル会場のようなのでした。6年生の「USA」のダンスでは、全校が一つになって最高潮の盛り上がりを見せ、暑さも吹き飛ばすほどの熱気と一体感が生まれました。その舞台の裏では、教頭先生が体育館周りにミストを設置するなど暑さ対策をしてくれたり、毎日、昼休みにリハーサルを



行い、準備や進行を支えてくれたりする先生方の姿がありました。そして、練習をそっと応援し、アドバイスを送り、当日も一緒に踊り、全力で応援する先生たちの姿はまさに「本気全開」。人を楽しませるには、みんなで楽しむこと。そして、得意を発表するためには、それまでの準備や努力があつてこそ。

こうして栎田小学校は、子どもたちだけでなく、先生たちも一緒に学び、動き、輝いています。だからこそ、子どもたち一人ひとりが堂々と、自分の得意なことを発表し、喜びをもってステージに立つことができるのです。子どもたちが輝くその背景には、先生たちの努力と支えがあります。そして、その輝きがまた、周囲の人の心を照らしていきます。星がきらめく七夕の空のように、一人ひとりの輝きが

優しくつながって、学校全体が

あたたかな光に包まれました。これからも、子どもも先生も、そして地域の皆さまと共に、輝きを育て合える栎田小学校でありたいと心から願っています。

